

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	数理情報学 (池田 和司 (教授))		
学籍番号	2111206	提出日	令和 5年 1月 19日
学生氏名	早船 晃希		
論文題目	文字を用いたインタラクションによる画像刺激に対する感情の共有の調査		
要旨			
<p>ある対象物に対して人が抱く感情は一般的に個人差があるが、他者とのインタラクションによって、対象物に対して抱く感情は共有されると考えられる。感情の共有という、言葉として共感を思い浮かべるかもしれないが、共感とは異なるものである。一般的な共感の定義としては他者の感情を観察したとき、観測者がその場で他者と同一の感情状態になることであることに対し、感情の共有はある対象物に対して、元々個人差のある感情が他者とのインタラクションによって類似する現象である。しかし、本研究で定義される感情の共有に関する研究は十分ではない。よって本研究では、2者に同一の画像を提示し、画像に対する感想を文字を用いてインタラクションさせた際に、画像刺激に対する感情の共有が起こるかどうかを被験者実験により調査した。また、感情の共有を評価するために、インタラクション後にそれぞれの被験者における感情の自己評価尺度を取得した上、感情には生体信号が密接に関わっているという理由で、それぞれの被験者の生体信号を取得し、感情の共有メカニズム解明の一助とした。解析の結果、文字を用いたインタラクションを実施しなかった群における自己評価尺度の相関の有意な上昇は確認できなかったことに対し、インタラクションを実施した群における自己評価尺度の相関は有意に上昇した。これは、文字を用いたインタラクションによる画像刺激に対する感情の共有が示唆されたと考えられる。しかし、インタラクションを実施した群における生体信号の相関の有意な上昇は確認できなかったことより、感情の共有が起こる際に生体信号の共有も起こっているということを示唆することはできなかった。</p>			